

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念・基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	1-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	1-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>岐阜市の保育理念を基とした、あかね保育所の保育理念は第一に子どもの最善の利益の保障に努めることを掲げている。そして職員の専門性と人間性を高める中で愛情と信頼に満ちた環境の中で養護と教育が一体となった質の高い保育に努めること。更には家庭援助、地域における子育て支援、乳幼児の福祉を積極的に推進することを明文化しており、簡潔でわかりやすい理念である。</p> <p>理念に基づく基本方針は『子どもの発達援助』『子育て支援』『地域の住民や関係機関との連携』『運営管理』とし、安全で安心できる場、遊びを通して生きる力の基礎を培う場、人とのかかわりを学ぶ場、生活の仕方を学ぶ場、子育て支援の場を保育所の役割りと位置づけ、職員は資質向上を目指し、責任を持って保育するとともに、地域との連携を大切にすることが明文化されている。</p>		
改善できる点/改善方法:		
I-1-(2) 理念・基本方針が周知されている。		第三者評価結果
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 基づく基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>理念・基本方針の職員への周知については、年度初めに理念・基本方針を職員に配布し、職員会議・保育打合せ会の話し合いの中で保育に反映されているかを振り返るようにしている。また、新任の保育士に対しては、日常の保育の中で具体的に話し、理解できるように努めている。</p> <p>利用者への周知については、保育所玄関に理念・基本方針・保育目標をわかりやすく掲示し、保護者や見学者がいつでも見ることができるようにしている。入所式(または途中入所者にも)掲示と同じ資料を全保護者に配布し説明している。</p> <p>地域の方々への周知については、地域の子育て支援事業の機会に保育所の説明をしたり、保育所で行っている活動や保育サービスをパンフレットにして公民館等に置いている。</p>		
改善できる点/改善方法:		

I-2 計画の策定

I-2-(1)中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>「幼児教育の充実及び職員の資質向上」「食育の推進」「地域との連携」「自己リスク軽減」が中長期事業計画として策定されている。</p> <p>平成24年度に発足した《岐阜市公立保育所保育研究会》のねらいである『保育内容・質において一定水準を保ち子どもの最善の利益を尊重した保育と教育の提供』にむけて、子どもの発達に沿った教育活動カリキュラムの作成などの研究を続けている。食育では楽しく食べる子どもに成長することを目指し、地域老人クラブと交流、地域行事への参加、茜部小学校との交流、地域子育て支援を重点的に推進する。また、中・長期計画の中にヒヤリハットの項目を掲げ、ヒヤリハットマップから危険な場所の共通化を計り、効果的な対策を立てていくことが明示されている。</p> <p>中・長期計画を踏まえて、事業計画が策定されている。平成25年度事業計画は中・長期計画の具体的推進策のほか、施設関係では、「砂場木枠の取り替え」「園庭遊具の塗装」「給食室の網戸取り付け」が計画に盛り込まれている。</p>		
改善できる点/改善方法:		
I-2-(2)事業計画が適切に策定されている。		第三者評価結果
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>職員会議、保育打合せの中で、計画の策定を行い、実施後には次年度に反映させるための評価を行っている。</p> <p>計画の職員への周知は、計画を全職員に回覧するとともに、職員会議で周知し、実施後は次の見直し、改善に向けて職員会議で話し合いを行っている。</p> <p>保護者には年間行事予定や毎月のたより、行事だよりで事業内容を説明するほか、玄関や保育室各クラスに掲示して周知を行っている。</p>		
改善できる点/改善方法:		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
1-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
1-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>「職務分担表」で所長の役割りと責任を明らかにしている。また所長は年度初めに保育方針、保育所運営について説明し、対外的な交渉、保育における課題や問題解決に取り組んでいる。</p> <p>管理者は積極的に園外研修に参加して、遵守すべき法令の習熟に努め、職員会議や職場内研修を通して職員への周知を図っている。また職員に対しては「公務員倫理」「人権」等の職場内研修を行い共通理解するよう努めている。</p> <p>保育小六法常備し、必要時に確認できるようにしている。</p>		
改善できる点/改善方法:		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果
1-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
1-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>所長は常に保育現場を巡視し、子どもや保育士のそばで現状把握に努めている。年間指導計画、月間指導計画、週案、保育日誌などを絶えずチェックし、保育の課題・問題点の解決・改善に向けて所内研修や職員会での話し合いの機会を持ち、保育サービスの質の向上に努めている。</p> <p>「福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の着眼点で保育サービスの自己評価を実施し保育の見直しを定期的に行っている。</p> <p>職員からの保育に関する質問には、解決に向けての具体策を指導している。</p> <p>所長は勤務表にて毎日の保育体制を把握し、必要に応じて副所長が補助に入る取組を行っている。また、職務分担表や、勤務表をもとに職員の配置を行い、職員それぞれが責任を持って職務を遂行できるよう助言、指導を行っている。</p>		
改善できる点/改善方法:		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保育事業関係の動向については全国社会福祉協議会発行の「保育士会だより」「ぜんほきょう」等の各種専門誌から情報収集している。また所長研修、園外研修から情報収集している。保護者アンケートや地域との交流からニーズを把握し、職員会議等で話し合い次の計画に反映させている。</p> <p>光熱水費の節約や消耗品の予算執行の流れについて職員に周知し、効率的な予算執行を心がけている。また在庫がわかるよう倉庫内を整頓し、利用できるものは工夫して使用するよう努めている。</p> <p>年に一度監査を受けている。監査のための運営にならないよう常に問題意識を持ち改善を心がけている。</p>		
改善できる点/改善方法:		

Ⅱ-2 人材の確保・養成

Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>人事については、市の基準により、年齢別児童数、障がい児保育児童数、長時間児童数の状況に応じた配置がされている。所長は職員それぞれの保育を把握しながら自信を持って力を発揮できるよう助言指導を行っている。</p> <p>人事考課については、市の人事考課マニュアルに基づき、目標管理を実施している。年3回の面談を行い進捗状況を把握し助言や指導を行っている。自己を振り返り、成長を認めるとともに、課題を明確にして意識改革や意欲につなげていくように助言指導をしている。</p>		
改善できる点/改善方法:		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者評価結果
	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C

	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	㊤・B・C
--	---------------------------------------	-------

良い点/工夫されている点:

毎月職員の有給休暇の取得状況はチェックされている。取得にあたっては、全体の職員配置に留意しながら、適正に取得できるよう配慮されている。職員のプライバシーに配慮し、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。

全職員が定期健康診断を受けている。所長がメンタルヘルス研修を受け、職員への声かけを多くし、健康状態(心の健康含)を把握し必要に応じて面談を行っている。相談内容によっては職員の健康相談窓口を紹介し、相談できるようにされている。

改善できる点/改善方法:

	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている	第三者評価結果
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	㊤・B・C
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	㊤・B・C
	II-2-(3)-③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	㊤・B・C

良い点/工夫されている点:

市の定める保育の基本方針の中の「運営管理」で、職員の資質の向上、適切な研修機会の確保、自己研鑽に対する援助助言に努めることが明示されている。

年間の職員研修計画を明示し、正規職員、臨時職員、嘱託職員の全職員が専門性を高めるため受講している。研修後は報告書にまとめ職員会議で報告、回覧をして職員間の共有を図っている。また保育士が担当責任者になり保育所内の課題やテーマを定め園内研修を行っている。

研修での学習が保育の中で活かされるように指導計画の見直しを行っている。

改善できる点/改善方法:

	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	第三者評価結果
	II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	㊤・B・C

良い点/工夫されている点:

実習生受け入れマニュアルが整備され、受け入れの基本姿勢が明示されている。

実習の要請に対しては積極的に受け入れ、保育養成校、看護専門学校と連携をとり実習を行って

いる。

事前オリエンテーションを行い、明確な目標を持って実習に取り組めるようにしている。実習後にはカンファレンスを行っている。

改善できる点/改善方法:

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点:

「緊急対応マニュアル」「安全管理マニュアル」が作成され、よく整備されている。

「防災マニュアル」に基づき、職員体制が組まれている。保護者への連絡は一斉メール配信登録者と電話連絡者に分けられている。災害時における保護者以外の迎え登録や、チェック表が整備されている。毎月の災害避難訓練は、災害をいろいろ想定し行っている。非常持ち出し袋の中身の点検整備が行われている。

毎月の施設遊具点検、毎日のクラス安全点検で環境の見直し、改善を行っている。

「事故防止チェックリスト」やヒヤリハットを活用することで、点検箇所を把握し、改善や見直しを職員会議などで話し合い安全対策を実行している。

改善できる点/改善方法:

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-②	事業者が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C

良い点/工夫されている点:

保育の基本方針の中に「地域住民や関係機関との連携」が明示されている。

<p>地域との交流が年間計画にも取り入れられている。7月の七夕会、秋の芋ほり会、新年のお楽しみ会では、老人クラブと交流するなど、積極的に行われている。</p> <p>高校生の保育体験などの依頼には積極的に受け入れ対応している。地域子育てサークルに年長児が参加して一緒に遊んで交流している。</p> <p>未就園児を対象として10月運動会の「未就園児かけっこ」、12月の「お店屋さんごっこ」、1月の「人形劇鑑賞」が計画され、そのチラシは地域の公民館などに置かれている。</p> <p>地域のニーズに対応し、サポート一時預かり、園庭開放、図書貸出、子育て相談を行っている。「ボランティア受け入れマニュアル」も整備され、マニュアルに基づきボランティアを受け入れている。毎月年長児(12月からは年中児も参加)はボランティアによるサッカー教室、体操教室を楽しんでいる。</p>
改善できる点/改善方法:

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	第三者評価結果
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>小学校、公民館、発達相談センター、嘱託医、ことばの教室、主任児童委員、地域自治会、老人クラブと連携し、情報収集、保護者への情報提供を適切に行っている。</p> <p>地域会議(保健センター、主任児童委員、保育所、児童センター)に参加して、地域の虐待が疑われる児童の情報交換をしている。また各関係機関、団体(医療機関、民生委員・主任児童委員、老人クラブ、公民館、警察署、消防署)との連携は適切に行われている。</p>	
改善できる点/改善方法:	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	第三者評価結果
II-4-(3)-① 地域のニーズを把握している。	Ⓐ・B・C
II-4-(3)-② 地域のニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>主任児童委員との情報交換や園庭開放、子育て相談、地域子育てふれあい教室を通して、地域のニーズの把握に努めている。地域の未就園児に保育所を紹介するパンフレットを公民館に置いている。</p> <p>園庭開放に来所した未就園児の保護者へのアンケートから子育てニーズの把握に努めている。</p> <p>地域ニーズに基づく事業としては、運動会、お店屋さんごっこ、人形劇への参加があり、企画や内容を評価して次年度の計画に活かすようにしている。</p>	
改善できる点/改善方法:	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位のサービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保育理念、保育の目標、基本方針が玄関や、各クラスの見やすい位置に掲示されている。また「保育士倫理綱領」は各保育室に掲示され、常に保育士自身が子どもの人権や主体性を尊重した保育が行われている。</p> <p>外国籍の利用児が在籍しているので、子どもたちが共に分け隔てなく育ち合う環境づくりも配慮されている。</p> <p>プライバシー保護についてのマニュアルが作成され、知り得た個人情報には他に漏らさないことが周知徹底されている。また人権を尊重した環境(プール・ベランダなどにカーテン、ついたてなど)づくりをしている。未満児連絡帳、障がい児の連絡帳はプライバシーに配慮された取り扱いがなされている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果
	Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>意見箱の設置や個別懇談会、行事ごとの保護者アンケートから保護者の意向を把握して保育の見直し改善を行っている。</p> <p>アンケート集約後は改善策や見直しを記載した結果報告書を保護者に配布している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>玄関に意見箱を設置している。苦情受付窓口の案内を掲示している。</p>		

<p>送迎時に積極的に保護者に声をかけることで要望や気づきなどの意見を述べやすい雰囲気づくりをしている。事務室のドアを開放して保護者が事務室へ入りやすくし、相談に応じられるようにしている。</p> <p>苦情解決の仕組みをわかりやすく玄関に掲示して意見を述べやすい体制が作られている。</p> <p>苦情、意見は記録されている。職員には周知され、対応策や回答が話し合われている。また、苦情の内容や対応策、回答は玄関に分かりやすく掲示され、保護者に周知している。</p> <p>保護者からの意見に対しては、対応マニュアルにより、状況に応じてクラス担任による個別対応、所長対応を行っている。意見に対する回答は、個別的なこと、保育所全体に関する事など内容に応じて、掲示、または直接保護者に伝えるなどしている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	第三者評価結果
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎週火曜日、副所長を中心として「第三者評価基準ガイドライン」の着眼点に基づいて、自己評価を実施し、見直しを行っている。所長は見直しが保育の中で実践されているかを確認し、必要に応じて指導を行っている。</p> <p>園内公開保育を行い、保育実践を職員間で評価して保育の向上を図っている。話し合いでの気づきから改善・見直しを行い実践につなげるようにしている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2-(2)	提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
	Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>提供する個々のサービスに対応したマニュアルを作成し職員に周知している。標準的なサービスの実施方法(保育課程)については、子どもの発達を捉えて保護者の意向を踏まえて指導計画を作成し実施している。</p> <p>毎月、月案、週案の評価反省を行い、保育の見直しや課題を次月の保育につなげている。</p> <p>保育課程・年間計画は年1回の見直しと期別ごとの評価見直しを行い、月案は毎月10日までに前月の保育の評価反省を行い、次月の保育指導案に活かし保育を実践している。週案については随時見直</p>		

しを行っている。また保護者アンケートや毎日の送迎での意見や要望から課題を見つけ、職員会議で話し合い保育に反映できるようにしている。
改善できる点/改善方法:

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況などを記録している。記録する保育士で書き方に差異が生じないように、新任保育士には特に記入のポイントや子どもの見方などを個別に指導している。個別の事例については職員会議でケース会議を行い子どもの情報を共有し、全体で発達を見ていくようにしている。</p> <p>個人情報保護のためのマニュアルは整備されている。個人情報の保護や守秘義務の遵守を会議や研修で周知している。特に感染症発病の情報提供には特定されることのないよう配慮されている。個人情報の管理は鍵のかかるキャビネット内に保管し、持ち出しは「持ち出し記録簿」に記入し必ず所長・副所長の承諾を得るように指導されている。</p> <p>職員会議や園内研修の中でケース会議を設けて情報の共有を図っている。担任以外の職員から見た子どもの姿を会議の中で出し合い、支援の方法を検討し実践している。</p>	
改善できる点/改善方法:	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービスの提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保育所の保育の理念や基本方針を見やすくわかり易い表現で表示し玄関に掲示してある。地域の公民館に保育サービスや交流を紹介したチラシを置き情報提供をしている。</p> <p>入所希望の保護者に対して保育所の理念・基本方針・入所手続き、保育内容や料金などについて記載された「保育所入所あんない」を配布し、十分説明を行っている。</p>	

<p>保育所見学を希望される場合は、その都度わかりやすく説明するとともに、見学者からの質問にも丁寧に対応している。園庭開放で来所の際も保育所の紹介を行っている。</p>
<p>改善できる点/改善方法:</p>

<p>Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>市内の保育所(園)への転所の際は、児童票、個別記録表の書類を送り、子どもの保育経過や状況を継続していくことができるようにしている。</p> <p>小学校入学に際しては、「保育児童要録」を送付し、保育所の子どもの発達や育ちを小学校へ引き継いでいる。</p> <p>転所、就学後も相談窓口として子どもに関する問い合わせを受け入れ、継続性に配慮している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

<p>Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>家庭状況調査表、生育暦、心身の状況等市で統一されたアセスメント様式で記録されている。</p> <p>子ども一人ひとりのニーズや課題は、保護者からの書面、懇談会、送迎時、連絡帳で把握記録している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	

<p>Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>指導計画は副所長が中心となり、職員全体で検討を行い作成している。週案、月案の見直しを担当者が行い、所長、副所長による評価、助言・指導を受け、改善を図る仕組みがある。全職員が参加してケース会議を開き、保育の質の向上に努めている。</p>	

改善できる点/改善方法:

IV 保育所保育の基本

IV-1 養護と教育の一体的展開

IV-1-(1)		第三者評価結果
	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保育課程は、毎年見直しが行われている。保育の基本方針や保育目標を基に年案、月案を立案して毎月の保育の反省を行い課題を見つけ、翌月につなげるようにしている。</p> <p>保育の目標は「元気で、たくましい子」「思いやりのある子」「豊かに表現できる子」「自分で考え行動できる子」とわかりやすい4項目を掲げている。保育の目標は玄関・保育室に掲示し保護者との共有がはかられている。</p>		
改善出来る点/改善方法:		
IV-1-(2)		第三者評価結果
	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	該当項目なし
良い点/工夫されている点:		
改善できる点/改善方法:		
IV-1-(3)		第三者評価結果
	1・2歳児保育において養護と教育の一体的展開されるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>毎日、保護者から体温、体調など聞き取り、子どもの動きを観察し、快適な一日が過ごせるよう配慮されている。保育室内はすべて南向きで、明るくのびのびと過ごせる環境が整備されている。保護者との連携は送迎時の話し合い、連絡帳で行われ、保護者が安心して子どもを預けられる雰囲気を感じとられる。</p>		
改善できる点/改善方法:		
IV-1-(4)		第三者評価結果
	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開されるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	㊤・B・C

<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>年間指導計画を1期(4・5月)2期(6・7・8月)3期(9・10・11・12月)4期(1・2・3月)に分け、子どもの年齢、成長、季節に合わせた養護、教育環境が明記されている。各年齢の発達を捉えた指導案の立案については、これまでの評価反省を翌月の保育につなげる体制をとっている。副所長が保育打ち合わせ会に参加し、子どもの発達や実態に合わせた見直しを行い、子どもの遊びやすい環境を整えている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	
IV-1-(5)	第三者評価結果
<p>小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>指導計画第4期(1・2・3月)で、就学に向けての取り組みが入れられ、様々な生活経験の中で自信を持ち就学への期待が持てるよう取り組まれている。</p> <p>保護者とは個別懇談や送迎時を通して子どもの様子を伝え、安心して就学へ向かえるよう取り組んでいる。また、保育児童要録は所長の責任のもとに関係する保育士が参画して作成されている。</p> <p>小学校との交流は、11月の小学校での「キッズトントン」、12月の小学校訪問が計画されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	

IV-2 環境を通して行う保育

IV-2-(1)	第三者評価結果
<p>生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>室内外の環境整備は、全保育士が常に意識して環境の整備をしている。毎日、気温、湿度の測定記録を行い換気やエアコン、加湿器で調整している。</p> <p>保育室は安心して好きな遊びができるようコーナーを設けたり、保育士が静かに話しかけるなど、言葉かけや、言葉づかい、声の大きさにも気をつけて子どもの気持ちを大切にしようにしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	
IV-2-(2)	第三者評価結果
<p>子どもが基本的な生活環境を身につけ、積極的に身体的な活動ができるよう環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保健安全計画により、子どもの保健指導、安全指導が行われている。そのねらいは一人ひとりの子どもが、安</p>	

<p>定感を持って、健康で安全に過ごせるようにする事であり、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作りだす力を養うことにある。保育士は、1人ひとりの発達を理解し、発達に応じた援助や環境を工夫して、子どもが自らしようとする気持ちを大切にしていることが窺える。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		
IV-2-(3)		第三者評価結果
	<p>子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>子ども達が好きな玩具や用具を使って遊び、保育士の見守りの中で子ども達は遊びを進めている。</p> <p>子ども達の発達に応じて保育士を介したり、子ども自身が問題解決できるよう見守っている。</p> <p>異年齢児の関わりを大事にし、毎月なかよし会として活動している。以上児の行事において未満児との交流を行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		
IV-2-(4)		第三者評価結果
	<p>子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>自然に触れられる環境に恵まれているので、散歩を通じて季節の移り変わりを感じたり、自然物で遊んだりする体験を大切にしている。</p> <p>身近な生き物を観察したり、飼育する環境を取り入れている。近くの用水で「ザリガニ」とりを楽しんだり、さつま芋ほりや、玉ねぎほりを体感している。</p> <p>地域の人や毎週木曜日の朝、老人クラブの人と触れ合いを楽しんでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		
IV-2-(5)		第三者評価結果
	<p>子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>年齢に応じ、子どもが自由に描いたり、作ったりできるようクレパス、粘土、広告、折り紙などを用意している。</p> <p>絵本や紙芝居などの読み聞かせや、歌を歌ったり体を動かすなどの表現活動を保育の中に取り入れている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p>		

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1)		第三者評価結果
	保育士が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 各クラスの見直しや保育実践の見直しを毎週職員間で話し合いをして保育の改善を行っている。公開保育を行い、自らの保育を振り返り保育実践の向上に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

V 子どもの生活と発達

V-1 生活の発達と連続性

V-1-(1)		第三者評価結果
	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保育士全員が、静かに、優しく接しており、大きな声で子どもに指示を与えることもなく、子どもたちが自主的に動くよう見守っている様子が窺えた。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
V-1-(2)		第三者評価結果
	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され保育の内容や方法に配慮が見られる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 個別の指導計画を作成し、子どもの発達に合わせた取り組みをしている。子どもの気持ちや行動を理解しその子に合わせた援助を行っている。ケース会議で報告し共通理解をし連携を取っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
V-1-(3)		第三者評価結果
	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 長時間への引継ぎはチェック表で行っている。1日の子どもの状態を当番保育士が把握して保護者に伝え</p>		

<p>られるよう連携を取っている。</p> <p>異年齢児がゆったりと過ごせるように玩具などを考えるとともに、家庭的な保育も心がけている。</p>
<p>改善できる点/改善方法:</p>

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1)	第三者評価結果
<p>子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>家庭調査票により既往症・予防接種を記載し把握している。毎朝登所時に健康状態をチェックしている。</p> <p>薬持参の子どもに対しては、保護者に「薬連絡書」を提出してもらい、依頼日時・病名・病院名・薬の内容・量と種類などの記入確認と、薬を手に取り確認、受け取った保育士名を記入する。服用させた場合は誰が飲ませたかを連絡表に記入し、保護者に通知する手順をとっている。</p> <p>子どもの健康状態については、保育士間で情報が共有されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	
V-2-(2)	第三者評価結果
<p>食事を楽しむことができる工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>友達や保育士と一緒に会話しながら楽しい雰囲気ができている。</p> <p>毎月ランチデーが設けられ、異年齢児と一緒に食事をしたり、盛り付けを工夫したりして、食事が楽しくできるよう工夫されている。</p> <p>食育ボードや園庭のプランターで栽培した、玉ねぎ、ナス、きゅうりなどを調理してもらい、自分達で作ったものを収穫して食べる喜びが味わえるようにしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	
V-2-(3)	第三者評価結果
<p>乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>子どもの発達に合わせて、各クラスと調理員間で連携を取り、量や盛り付けを工夫している。</p> <p>給食献立検討委員会で献立の検討をおこない、改善を図っている。</p> <p>保護者も子どもたちの保育所の食生活に充分満足していることが、アンケート調査により窺えた。</p>	

改善できる点/改善方法:	
V-2-(4)	第三者評価結果
健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達しそれを保育に反映させている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保健安全計画に基づき、歯みがき、うがい指導が行われている。健康診断事前調査票に保護者に相談内容を記入してもらい健診の際は嘱託医に伝えている。</p> <p>健康診断・歯科健診結果について、結果を記録し健康状態の共有化をしている。</p> <p>診断結果を保護者に連絡し、早期治療を依頼している。毎月「おひさまニコニコ会」で健康について話し子どもへの意識付けを行っている。</p> <p>受診結果については全職員に伝達している。</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1)	第三者評価結果
アレルギー疾患、慢性疾患など持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保護者からの申請を受けて4者(保護者、所長、担任、調理員)面談を行い、除去食の確認を行っている。提供する食事は、他児と区別できるようトレイにのせて確認している。</p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対しては、保護者から事前にアレルギーとなる食物を提示してもらい、献立に際してはそれを除去した食物を提供している。</p>	
改善できる点/改善方法:	
V-3-(2)	第三者評価結果
調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>調理場は整頓され、清潔であり、衛生管理が行き届いていることが窺えた。</p> <p>保育所給食衛生管理マニュアルに基づき調理を行っている。</p> <p>年3回学校薬剤師、保育所長が衛生点検を実施し指導にあたっている。</p>	
改善できる点/改善方法:	

VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

VI-1-(1)		第三者評価結果
	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎週2回給食の展示を行っている。食材の産地情報を掲示している。</p> <p>食育だよりを発行して、情報の提供や関心を持ってもらうきっかけづくりをしている。</p> <p>個別に喫食の状況を家庭と連絡を取り情報提供している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
VI-1-(2)		第三者評価結果
	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>連絡帳・送迎時・個別懇談会などさまざまな機会を捉えて保護者と連携をとり、子育て相談や、子どもの成長を伝え合い子育ての喜びにつながるように配慮している。</p> <p>送迎の際に口頭や連絡帳で保育所でのできごとや様子を知らせるほか、各クラス毎に玄関に見やすい大きな字で、当日の園での出来事、生活の模様を知らせ、あわせて翌日の予定、持参する品物などを書き込み、保護者との連携を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
VI-1-(3)		第三者評価結果
	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>入所式・保育参観やクラス懇談会・運動会・発表会などの行事、保育所便り、クラス便りを通じ保育の意図を伝え共通理解を得るようにしている。個人懇談会については、玄関ホールにあらかじめ、各個人の予定日を記載した表を掲示し保護者が参加しやすいよう配慮している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
VI-1-(4)		第三者評価結果
	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>マニュアルは整備されている。日頃から子どもの保護者の様子を把握し、虐待が疑われる場合は、所長に報告され、関係機関と連携をとり対応されている。個人情報については特に配慮しながら保育士間で連携し観察サポートしている。</p>
<p>改善できる点/改善方法:</p>

VII 個別サービス評価基準(岐阜県独自基準)

VII-1 安全管理面でのサービス

VII-1-(1)	第三者評価結果
外部からの侵入に対する対応策がとられている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>不審者緊急対応マニュアルは整備されている。毎月不審者対応訓練を実施(様々な想定をして)し、反省課題については翌月の訓練につながるようになっている。</p> <p>門や玄関の施錠については保護者に理解、協力をお願いし、近隣との連絡体制をとり備えている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	

VII-2 保護者とのコミュニケーション

VII-2-(1)	第三者評価結果
保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保育園の主な行事には、入所式・遠足・七夕・個別懇談・夏祭り・プール参観・運動会・劇あそび発表会・祖父母参観・クリスマス会・人形劇鑑賞会・卒園式がある。</p> <p>これらの行事日程は保育所便り、クラス便りなどでできるだけ早く保護者に知らせるなどして保護者の多くの参加を促している。</p> <p>行事に参加できない保護者には、資料を配布して子どもの状況を伝えるようになっている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	
VII-2-(2)	第三者評価結果
保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っていますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点:</p>	

<p>常時、保護者会と連携をとり、行事への理解と協力を得ている。</p> <p>行事の際の駐車場の確保、整理、交通安全指導に協力が得られている。</p> <p>保護者会の総会、役員会に所長も参加し助言するなど支援を行っている。</p>
<p>改善できる点/改善方法:</p>

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

VII-3-(1)	第三者評価結果
<p>保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っていますか。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>毎月、小学校と行事等を記載した「たより」を交換し、それぞれの活動を把握するようにしている。</p> <p>小学校の家庭科室を借りての「キッズトントン」など小学校と交流している。</p> <p>小学校児童の登校の際の集合場所提供している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法:</p>	